

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	脳神経外科における外視鏡手術の有効性，適応の検討
② 対象者及び対象期間，過去の研究課題名と研究責任者	<p>対象者：2018年4月より2029年7月までに当科で顕微鏡または外視鏡を用いた患者 過去の研究課題名：なし 研究責任者 大石 誠</p>
③ 概要	<p>顕微鏡は，脳神経外科手術にとって必要不可欠な光学機器であり，顕微鏡下手術は確立された手技である．一方で神経内視鏡の発展を経て近年，外鏡鏡の進歩により脳神経外科手術へ適用拡大され，その有用性が報告されてきている．</p>
④ 申請番号	2019-0184
⑤ 研究の目的・意義	<p>本研究では当科での外視鏡使用状況から，その有用性と課題を明らかにすることを目的に該当期間の顕微鏡手術と比較検討する．</p>
⑥ 研究期間	倫理委員会にて承認された日にちから2029年3月末まで
⑦ 情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>電子カルテに保存されている病歴及び画像を利用します．使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い，研究に使用します．研究の成果は，学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが，名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません．</p>
⑧ 利用または提供する情報の項目	<p>年齢，性別，疾患の種類，脳腫瘍症例の種類，大きさ，局在（テント上またはテント下），手術時間，周術期合併症など．また，研究期間を前期，後期に別けて比較する事で，外視鏡の適応率の拡大，ラーニングカーブによる手術時間の短縮を検討する．</p>
⑨ 利用の範囲	新潟大学 脳研究所 脳神経外科
⑩ 試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学 脳研究所 脳神経外科 教授 大石 誠
⑪ お問い合わせ先	脳神経外科医局 025-227-0653 shindainougeka@bri.niigata-u.ac.jp